地球内部物理学

2020.1.20

球対称地球モデル

IASP91

地球内部の温度

地球内部の温度

対流が起きているとすると...

上昇流と下降流の部分で温度が違わず
⇒ 地震波速度が違わず

球対称地球モデル

IASP91

IASP91に基づいた
理論走時

Fig. 4.17. Travel time picks collected by the ISC between 1964 and 1987 for events shallower than 50 km. Over five million individual picks are plotted, the bulk of which are *P*, *PKP*, and *S* arrivals. However, several later arriving branches can also be seen, including *PP*, *PKS*, *PcP*, *PcS*, *ScS*, *PKKP*, and *PKPPKP*. See Figures 4.19 and 4.23 for a key to the phase names. The phases visible at ± 1 minute from the *P*-wave are due to errors in assigning times.

X線CT

肝門レベル

水平方向不均質を探る：トモグラフィ

各ブロック内の速度を求める

理論走時

$$T = \sum_i \frac{x_i}{v_i}$$

トモグラフィの原理

震源—観測点の組が十分あれば v_i が求められる

$$T^1 = \frac{x^1_1}{v_1} + \frac{x^1_2}{v_2} + \frac{x^1_3}{v_3} + \dots + \frac{x^1_n}{v_n}$$

$$T^2 = \frac{x^2_1}{v_1} + \frac{x^2_2}{v_2} + \frac{x^2_3}{v_3} + \dots + \frac{x^2_n}{v_n}$$

.....

$$T^k = \frac{x^k_1}{v_1} + \frac{x^k_2}{v_2} + \frac{x^k_3}{v_3} + \dots + \frac{x^k_n}{v_n}$$

T^k, x^k_i は既知

密な観測網, 高速計算機が必要

全マントル・トモグラフィ

Fukao et al. (1994)

課題

- (1) 北米, オーストラリア, アフリカでは浅部の低速度異常あるいは高速度異常はどの深さまで続いているか？
- (2) 東太平洋海膨における浅部の低速度異常はどの深さまで続いているか？
- (3) ハワイの下の低速度異常はどの深さまで続いているか？
- (4) 深さ500-600kmで見えている北西太平洋(カムチャツカー日本ーインドネシア)の高速度異常はどの深さまで続いているか？

Lei and Zhao (2006)

プレートテクトニクス

地球の表面は厚さ約100kmの10枚ほどの硬い板(プレート)で覆われており, プレートは互いに運動している.
造山運動, 地殻変動, 地震などの変動はプレート間の相対運動によって生じる.

プレートとは？

プレート・・・ 表層約100km ...熱境界層

Hawaii, Lava Lake

プレート： 滞留した後，下部マントルを下降

Fig. 17. Above : representative cross sections of P-wave velocity perturbations in the mantle along great circles. The position of cross section is shown as a circle in an inset world map. The scale of anomaly is as same as Fig. 16. Below : Two contrasting modes of occurrence of subducted slabs in the western Pacific region. Cross sections of the slowness anomalies in the mantle along the profiles shown in the inset map. Subducted slabs are stagnant right above 670 km discontinuity plane around Japan (A, B, C, D, and E), but are being sunken in the Sunda region (F).

マントルオリビンの相転移境界線と温度分布 (Akaogi et al., 1989 など)

マントル対流への影響

下降流

上昇流

海嶺とは？ 上昇流？

海嶺についての観察事実

- 海嶺の“沈み込み”が起きる
 - 海嶺下の地震波速度
低速度は浅部のみ
- ⇒ 大規模上昇流とは考えにくい

海嶺：受動的上昇流

プレートの速度を決めているものは？

プレートの絶対速度 (mm/y)

沈み込んだプレートによる引っ張り

大規模上昇流に対応する現象は何か？

南太平洋, アフリカの下に大きな上昇流
(スーパー・プルーム)

Fukao et al. (1994)

火山の分布

● 図36 世界の活火山の分布

海嶺, 沈み込み帯, ホットスポット

ホットスポットの例：ハワイ

ハワイ諸島一天皇海山列

図 7・8 ハワイ諸島から天皇海山列に至る火山の軌跡

等深線は、ハワイ火山列・天皇海山列のまわりの、水深 2000m を示す。

ハワイ島からの距離と年代の関係

Ma = 100万年前

ハワイ島からの距離に比例して古くなる

1年あたりの距離はプレートの移動速度に等しい

ホットスポットのモデル

マグマの供給源
(不動, 長期間活動)

ホットスポットのモデル

ホットスポットの分布

Figure 3.23 Map showing three of the major seamount and island chains in the Pacific Ocean. These are the Kodiak Island-Cobb Seamount Chain in the northeastern Pacific, the Marshall-Ellice Islands-Austral Seamount Chain of the southern Pacific, and the well-known Hawaiian Ridge-Emperor Seamount Chain in the central Pacific. The Hawaiian Islands are located at the southeastern end of the Hawaiian Ridge.

プルーム

ホットスポットのモデル

大規模火山活動
= 玄武岩台地

ホットスポットのモデル

ホットスポットのモデル

玄武岩台地とホットスポット

図 1.16 玄武岩台地(黒ぬり), 海山列(破線), ホットスポット(黒点) (Duncan and Richards, 1991).

ホットスポットの例：ハワイ

ハワイ諸島一天皇海山列

図 7・8 ハワイ諸島から天皇海山列に至る火山の軌跡

等深線は、ハワイ火山列・天皇海山列のまわりの、水深 2000m を示す。

マントル対流への影響

下降流

上昇流

相転移による流れの阻害

現在の地球内部についてのイメージ

マントルオリビンの相転移境界線と温度分布 (Akaogi et al., 1989 など)

長い時間スケールで考える

大陸移動説 (ウェーゲナー Wegener, 1915)

“かつて超大陸パンゲアがあった”

根拠

- (1) 海岸線の相似性
- (2) 地質の共通性
- (3) 化石の共通性
- (4) 過去の気候分布

根拠(1) 海岸線の相似性

根拠(2) 地質の共通性

同じような特徴をもつ山脈

⇒ ひとつづきに

根拠(3) 化石の共通性

Mesosaurus

根拠(4) 過去の気候分布

氷河の分布

第2次大戦後

新たなデータ

- (1) 海底地形
- (2) 海洋磁気異常
- (3) 海洋底の年代
- (4) 地震の分布

大陸移動説の復活 ⇒ プレート・テクトニクス

海洋底拡大説

海洋底の年代

FIGURE 6-24

The age of the ocean floor is shown as bands of different color on the basis of the magnetic striping developed during sea-floor spreading. The youngest ocean floor is near the mid-ocean ridge, while the oldest is furthest away. (From R.W. Christopherson, *Geosystems: An Introduction to Physical Geography*, 3/e, 1997. Reprinted by permission of Prentice Hall, Upper Saddle River, N.J.)

m.y. = millions of years

海嶺から離れるにしたがって古くなる(対称的)

Pangaeaの復元

現在

4000万年前

6000万年前

この時点で
北大西洋は閉じている。

1億4000万年前

南大西洋も
閉じてしまい、残るは
中央大西洋のみ。

1億8000万年前

パンゲアの完成。

Pangaeaが分裂したのはなぜか？

Storey (1995)

Pangaeaの分裂と洪水玄武岩

プルームヘッド ⇒ 超大陸の分裂

CFB: 洪水玄武岩

Storey (1995)

Pangaeaのできる前は？

造山帯(山脈)の存在は何を意味するのか？

現在

Pangaea

Pangaeaの復元

現在

4000万年前

6000万年前

この時点で
北大西洋は閉じている。

1億4000万年前

南大西洋も
閉じてしまい、残るは
中央大西洋のみ。

1億8000万年前

パンゲアの完成。

大陸の分裂と海洋の形成

大陸の衝突と海洋の消滅

④ 沈み込み型造山帯 (日本列島, アンデス山脈)

⑤ 大陸縁成長

⑥ 大陸衝突・海洋の消滅

超大陸サイクル

(a) Late Proterozoic
(750 million years ago)

7.5億年前 (ロディニア)

(b) Latest Proterozoic
(550 million years ago)

5.5億年前

(c) Middle Cambrian
(530 million years ago)

5.3億年前

(d) Mid-Ordovician
(487 million years ago)

4.87億年前

(e) Mid-Silurian
(422 million years ago)

4.22億年前

(f) Early Permian
(250 million years ago)

2.6億年前 (パンゲア)

マントル対流 ⇒ 大陸の離合集散

CFB: 洪水玄武岩

Storey (1995)

Wilson Cycle